

2019年7月18日

高いAI技術で社会課題の解決を目指す 株式会社エクサウィザーズへの追加出資について

- ・ 高いAI技術により超高齢社会や労働力人口の減少などの社会課題の解決を目指す
- ・ 介護や人事領域において社会保障費の削減や生産性向上に貢献
- ・ 分野にとらわれず様々な領域で事業を拡大し継続的な課題解決を行う

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、株式会社エクサウィザーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：石山 洸、以下「エクサウィザーズ」）に対し、同社の事業展開を推進するための成長資金として、10億円を上限とする追加出資を行うことを決定し、同額の出資を実行しました。また、INCJに加えて、PERSOL INNOVATION FUND 合同会社、D4V1号投資事業有限責任組合、SOMPOホールディングス株式会社、Scrum Ventures、SMBCベンチャーキャピタル株式会社も同社への出資を行い、エクサウィザーズの本資金調達ラウンドでの資金調達総額は15.8億円となりました。

エクサウィザーズは、超高齢社会の到来や労働力人口の減少に代表される社会課題を、高いAI技術を用いて解決することを目指すベンチャー企業です。Care Tech（介護）およびHR Tech（人事）を事業の柱としてスタートし、介護領域では、認知症ケア技法「ユマニチュード®」とAIを組み合わせた独自のサービスの開発を進めています。人事領域でも、AI技術を用いて人事業務の効率化や働き手一人ひとりの生産性向上を支援するサービスが多くの大手企業に採用されるなど、順調に事業が進捗しています。2018年以降は上記二領域に加えて新たにMed Tech（医療・製薬）、Fin Tech（金融）、Robot Tech（ロボット）、Security Tech（セキュリティ）の分野に事業領域を拡大しています。

エクサウィザーズは、様々な産業におけるAI活用の可能性を検証しながら、その中で見出された有望領域においてAIプロダクトを開発・提供するモデルで事業の成長を加速しています。高い技術力を持つエンジニアを多数擁しており、多様なデータを組み合わせたAIによる解析が可能であることや、各分野に精通した人材を事業部に配置しており、顧客の抱える課題に対して単なる分析結果の提示にとどまらず、改善策の提案等も含めた一気通貫したAIソリューションの提案が出来ることを強みとしています。今後も、既存の事業領域にとどまらず、顧客とのPoC（概念実証）の取り組みを通じて見出したAI活用の有望領域において、プロダクトの開発を推進しながら事業を拡大していく予定です。

INCJは、2018年3月にエクサウィザーズに対して3億円を上限とする支援を決定、同額の出資を実行し、社外取締役を派遣するほか、行政機関への紹介や顧客候補企業等の紹介をはじめとした様々な経営支援を行ってきました。INCJの出資以降、同社は順調に事業規模を拡大し、優秀なAI人材の採用など体制構築も進展してきました。このような実績を踏まえ、INCJは同社が特定のインダストリーに限定せず、今後さらに対象領域を拡大し、AIに関する知見の蓄積やAIプロダクトの開発を推進していくための成長資金として、10億円を上限とする追加支援を決定しました。INCJは、エクサウィザーズのAIを活用した生産性向上や新規サービスを通じた付加価値の創出が、様々な領域における社会課題の解決に貢献することを期待しています。

株式会社エクサウィザーズについて

設立 : 2016年2月
本社 : 東京都港区
代表者 : 代表取締役社長 石山 洸
事業内容 : AIを活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決
URL : <https://exawizards.com/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018年9月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009年7月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025年3月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階
電話 : 03-5218-7202

【別紙】

追加支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・事業者名：株式会社エクサウィザーズ
- ・設立：2016年2月
- ・所在地：東京都港区
- ・代表者：代表取締役社長 石山 洸
- ・事業内容：AIを活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

2. 支援決定内容

- ・支援決定金額：10億円（上限）
- ・実投資額：10億円
- ・共同投資家：PERSOL INNOVATION FUND 合同会社、D4V1号投資事業有限責任組合、SOMPOホールディングス株式会社、Scrum Ventures、SMBCベンチャーキャピタル株式会社
- ・これまでの支援決定内容
 - 支援決定公表日：2018年3月29日、支援決定金額：3億円（上限）、実投資額：3億円
<https://www.incj.co.jp/newsroom/03621140760f29ad3edcdf4c7afe6a4a6501518c.pdf>
- ・投資ストラクチャー図：別紙

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・エクサウィザーズが保有する高いAI技術と、認知症ケア技法「ユマニチュード®」を組み合わせた新しいサービスは、超高齢社会が抱える介護業界の課題を解決する一助となりうる。
- ・介護領域以外においても、少子高齢化による労働力不足や、医療需要・社会保障費の高騰、資産寿命の長期化などの課題に対応したAIを活用したプロダクトを提供し、多くの社会課題を解決することが期待される。

<成長性>

- ・認知症ケア技法「ユマニチュード®」を軸としたCare Tech事業は、介護従事者の離職率低減や、社会保障費の低減に貢献することが可能である。
- ・HR Tech事業においては、人事業務を支援するサービスの提供により、企業の人材底上げによる労働力人口不足を解消することが期待される。
- ・介護・人事領域にとどまらず、製薬・医療、金融、ロボット、セキュリティ領域においても、AIによる生産性向上や新規サービスの創出を通じた付加価値の創出が見込まれる。

<革新性>

- ・介護領域において革新的な認知症ケア技法「ユマニチュード®」を、ICTやAIを活用して導入・普及を加速。
超高齢社会における様々な社会課題に対して、AIを活用したソリューションの提供を推進することにより、継続した課題解決を目指す。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本事業の実施にあたっては、AI・デジタル技術の活用を通じて、少子高齢化にともなう社会課題解決型ビジネスを推進し、生涯現役社会の実現に資するよう、事業に取り組まれない。

エクサウィザーズ



投資対象：株式会社エクサウィザーズ

事業内容：AIを活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

支援決定金額：3億円／10億円（いずれも上限）

支援決定公表日：2018年3月29日／2019年7月18日



- 高いAI技術により、超高齢社会が抱える社会保障費の増大や労働力人口の減少などの社会課題の解決を目指す
- 介護や人事領域において社会保障費の抑制や生産性向上に貢献
- 分野にとらわれず様々な領域で事業を拡大し継続的な課題解決を行う